

GARMIN®

FORCE® CURRENT

インストールガイド

安全に関する警告と注意事項

△ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている「安全および製品に関する警告と注意事項」を参照してください。

このデバイスを以下の手順に従って設置しない場合、怪我を負ったり、船舶やデバイスが破損したり、製品の性能が低下したりするおそれがあります。

プロペラが水中から出ているときは、モーターを作動させないでください。回転するプロペラに触ると、重傷を負うおそれがあります。

ご自身や水中の他の人が回転するプロペラに接触する可能性のあるエリアではモーターを使用しないでください。重傷を負う恐れがります。

重傷を負ったり、死亡事故の発生を防ぐため、プロペラ、プロペラ駆動モーター、電気接続部、または電子機器エンクロージャで操作または作業を行う場合は、事前に必ずモーターをバッテリーから外してください。

△ 注意

最大限の性能を發揮し、怪我、デバイスの損傷、船舶の損傷を防ぐために、認定技術者による設置をお勧めします。

目や耳の保護、または粉塵による被害等を防止するため、掘削や切断、研磨作業等を行う際には、常に安全メガネや防音用の耳栓、防塵マスクを着用してください。

トローリングモーターを輸送する際は、ステアリングシステムハウジングの背面にあるハンドルを常に使用し、プロペラ駆動モーターとプロペラに注意して、怪我や物的損害を防いでください。

注意

船舶の破損を防ぐため、ドリルで穴を開けたり、のこぎりで切断したりする場合は、表面の反対側に何があるか常に確認してください。

この製品によって発生する駆動力により、サポートできないカヤックもあります。サポートできないカヤックにForce Current トローリングモーターを取り付けたり使用したりしようとすると、カヤックが損傷する可能性があります。不明な点がある場合は、トローリングモーターを取り付けようとする前に、カヤックのメーカーにお問い合わせください。

必要なツールと備品

- ドリル
- #2 プラスドライバー
- ナイフまたははさみ
- ライターまたはマッチ
- 連続 40 A 定格のサーキットブレーカー¹

ボルトとナットを使用してマウントを取り付けるには、以下も必要です。

- ボルトとナット用の穴を開けるための 8 mm ($5/16$ in.) ドリルビット
- 11 mm ($7/16$ in.) コンビネーションレンチ
- 取り付け面を補強するための板金またはその他の適切な材料（オプション）

ジャックナットを取り付けるには、以下も必要です。

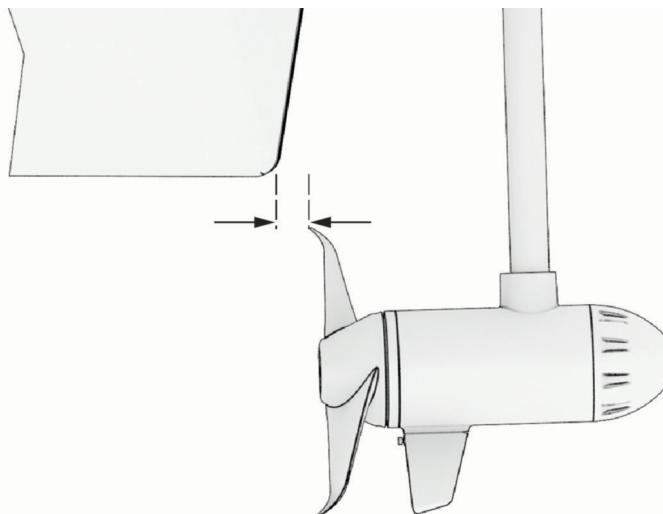
- 11 mm ($7/16$ in.) ドリルビット
- $1/2$ in. のコンビネーションレンチ

プロペラクリアランスの確認

△ 警告

トローリングモーターマウントを取り付ける前に、モーターシャフトの回転全体を通してプロペラと船体の間に十分なクリアランスがあることを確認する必要があります。モーターの取り付け後に発生する可能性がある取り付け位置の屈曲を考慮する必要があります。プロペラと船体の間に十分なスペースがない状態でモーターを取り付けると、使用中にプロペラが船体に接触した場合に、怪我や物的損害が発生する可能性があります。

1 プロペラ駆動モーターを手動で回転させ、シャフトが 360 度完全に回転するクリアランスを確認します。



注意

マウントを取り付ける前に、高効率プロペラとワイードレスプロペラの両方を使用して、十分なクリアランスを確認する必要があります。

2 必要に応じて、プロペラと船体の間に十分なクリアランスを確保するため、取り付け位置を再検討ください。

¹ garmin.com/accessories/force_current_trolling_motor で適切なサーキットブレーカーを購入できます。

マウントの取り付け

⚠️ 警告

マウントを取り付ける前に、プロペラと船体の間に適切なクリアランスがあることを取り付け位置で確認する必要があります ([プロペラクリアランスの確認, 2 ページ](#))。

注意

カヤックには、トローリングモーターマウントを取り付けるための平らな船尾が必要です。カヤックに平らな船尾がない場合は、カヤックの形状に合わせてアダプタを製作し、マウントを取り付けるための平らな面を用意する必要があります。そのような場合は、カヤックのメーカーに連絡して指導を受け、認定技術者による安全で確実な設置をお勧めします。

次のオプションを選択します：

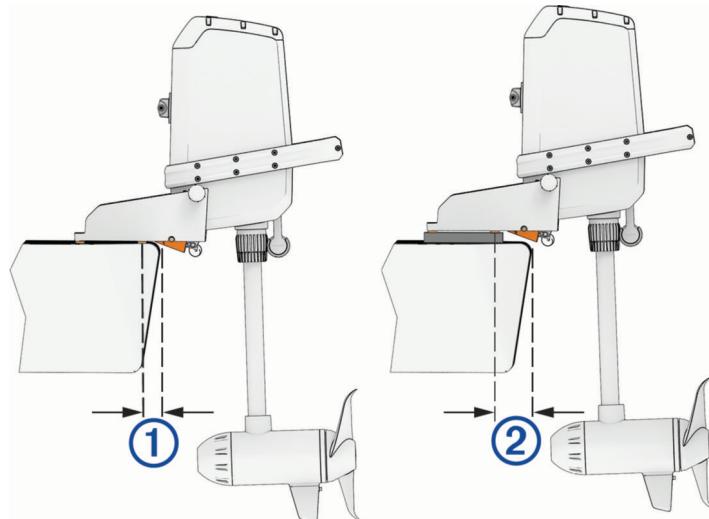
- カヤックの船尾に Power-Pole® Micro アンカースパイクドライバーと互換性のある、ねじ山付き取り付け穴がある場合は、それを使用して、カヤックにマウントを直接取り付けることができます ([互換性のある取り付けパターンを使用したカヤックへのマウントの取り付け, 4 ページ](#))。
- カヤックに Power-Pole Micro アンカースパイクドライバーと互換性のあるネジ山付き取り付け穴がない場合は、カヤックに適したアダプタプレートをサードパーティメーカーから入手できる場合があります。
- 取り付け面の下のスペースにアクセスできる場合は、ボルトとナットを使用してマウントを取り付けることができます ([互換性のある取り付けパターンを使用しないカヤックへのマウントの取り付け, 5 ページ](#))。

互換性のある取り付けパターンを使用したカヤックへのマウントの取り付け

1 カヤックの船尾の端から最も近い取り付け穴までの距離を測定します。

2 次のオプションを選択します：

- 船尾の端から最も近い取り付け穴 ① までの距離が 29 mm ($1\frac{1}{8}$ in.) 未満の場合、マウントをカヤックの取り付け穴の上に直接置きます。

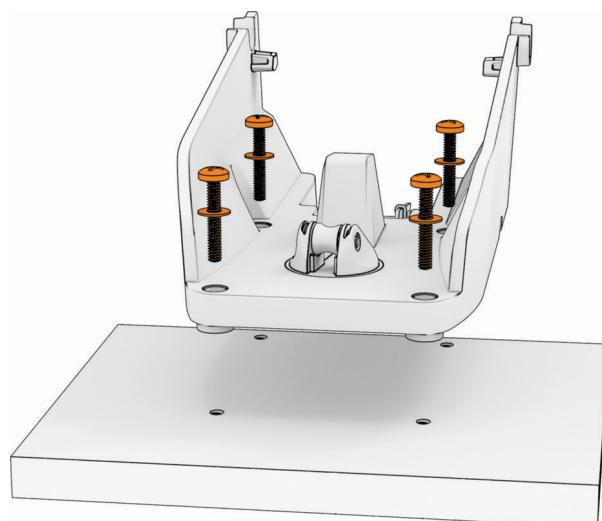


- 船尾の端から最も近い取り付け穴 ②, までの距離が 29 mm ($1\frac{1}{8}$ in.) および 100 mm ($3\frac{15}{16}$ in.) の範囲内にある場合は、20 mm ($\frac{3}{4}$ in.) のスペーサーをマウントとカヤックの間に追加して、マウントの形状に十分なクリアランスを確保します。スペーサーは garmin.com/accessories/force_current_trolling_motor で購入できます。

- 船尾の端から最も近い取り付け穴までの距離が 100 mm ($3\frac{15}{16}$ in.) を超える場合は、一体型取り付け穴を使用してマウントを取り付けることはできません。

お使いのカヤック用に、船尾の端に近い位置に新しい取り付け穴を提供するアダプタプレート入手できる場合があります。アダプタプレート入手できない場合は、カヤックに新しい取り付け穴を開けることができます(互換性のある取り付けパターンを使用しないカヤックへのマウントの取り付け、5 ページ)。

3 バッグ A に入っている取り付けねじとワッシャーを使用して、マウントをカヤックに固定します。



互換性のある取り付けパターンを使用しないカヤックへのマウントの取り付け

付属のナットとボルトを使用してマウントを取り付けるには、取り付け面の下のスペースにアクセスできる必要があります。

- 1 カヤックの船尾にマウントを置き、最適な取り付け位置を探します。

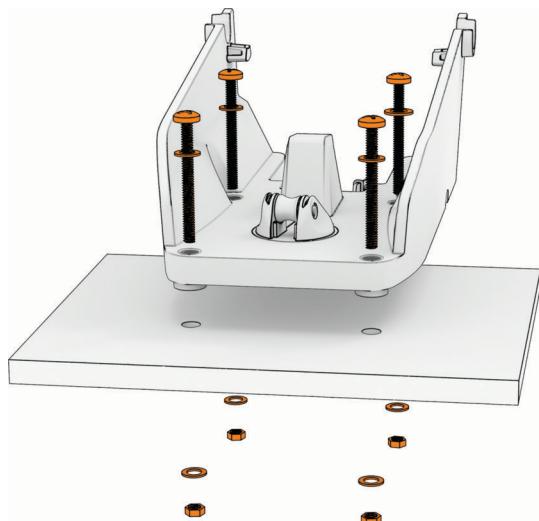
注意：マウントの後部は船尾からオーバーハングさせる必要があるため、マウントは船尾に平らに設置してください。

- 2 カヤックにパイロット穴の印を4つ付けます。

- 3 8 mm ($\frac{5}{16}$ in.) ドリルビットを使用して、4つの取り付け穴を開けます。

- 4 バッグ②からボルト、ナット、フェンダーワッシャーを取り出し、バッグ①から4個の平ワッシャーを取り出します。

- 5 マウントの上部にボルトと平ワッシャー、取り付け面の下側に4個のフェンダーワッシャーとナットを使用して、マウントをカヤックに固定します。



注意

取り付け面の素材への負担を軽減し、確実に取り付けるために、取り付け面の両側にワッシャーを使用する必要があります。すべてのワッシャーを使用せずにマウントを取り付けると、モーターとカヤックが損傷する可能性があります。

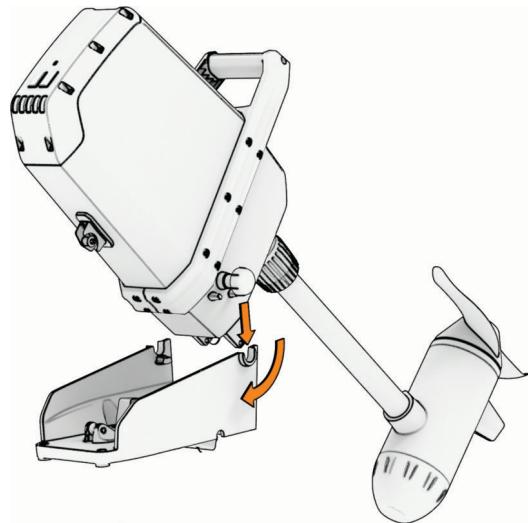
一部のカヤックでは、マウントを取り付ける前に、取り付け面の片側または両側にバックプレートを取り付けて補強する必要がある場合があります。不明な点がある場合は、お使いのモデルに関するガイダンスをカヤックのメーカーにお問い合わせください。

マウントへのモーターの取り付け

△ 注意

トローリングモーターを輸送する際は、ステアリングシステムハウジングの背面にあるハンドルを常に使用し、プロペラ駆動モーターとプロペラに注意して、怪我や物的損害を防いでください。

- 1 必要に応じて、トローリングモーターの両側にあるピボットノブを緩めます。
- 2 モーターのピボットノブとマウントのピボットブラケットを合わせ、モーターを約 45 度の角度でマウントに載せます。

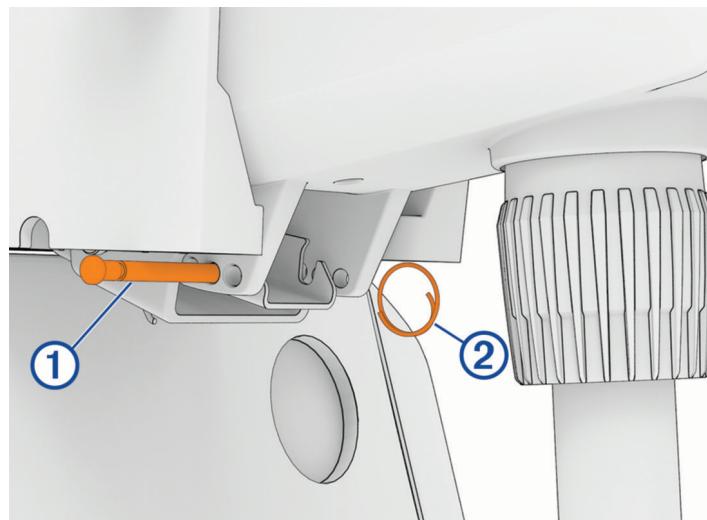


- 3 モーターを垂直位置まで回転させます。
- 4 モーターの両側にあるノブを止まるまで締めます。

ロックピンの取り付け

Force Current トローリングモーターは、水面に対する船尾の角度を補正するために、ロックピンの 3 つの異なる位置をサポートしています。

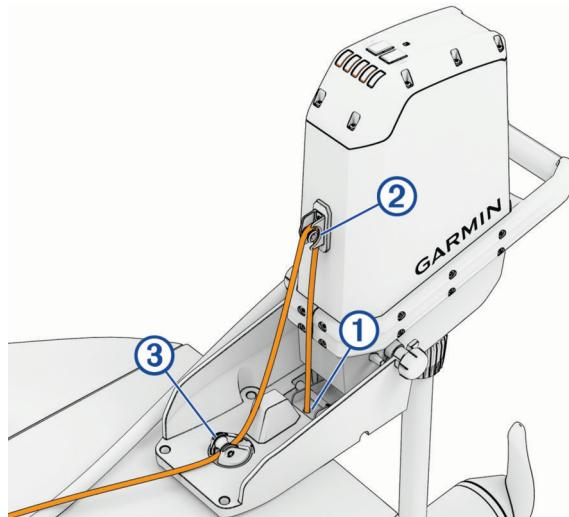
- 1 ロックピン ① をモーターの両側の U 字形金具に差し込みます。



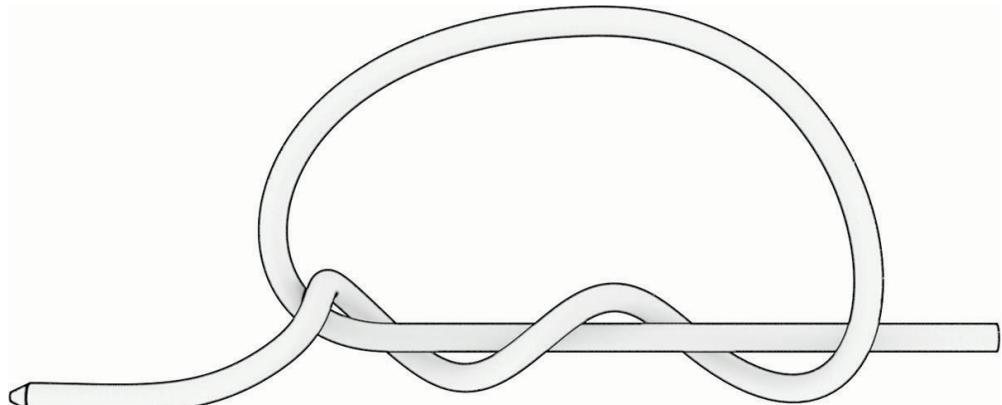
- 2 コッターリング ② をロックピンの端に取り付け、所定の位置に固定します。
モーターを展開すると、マウントラッチがロックピンをキャッチして、モーターを展開位置に固定します。
カヤックに対するシャフトの角度を確認し、必要に応じてロックピンを他の 2 つの位置のいずれかに移動して、モーターシャフトが水面に対して直角になるようにします。

プルロープの取り付け

1 ロープの一端をマウント①の金属製リリースラッチに通します。



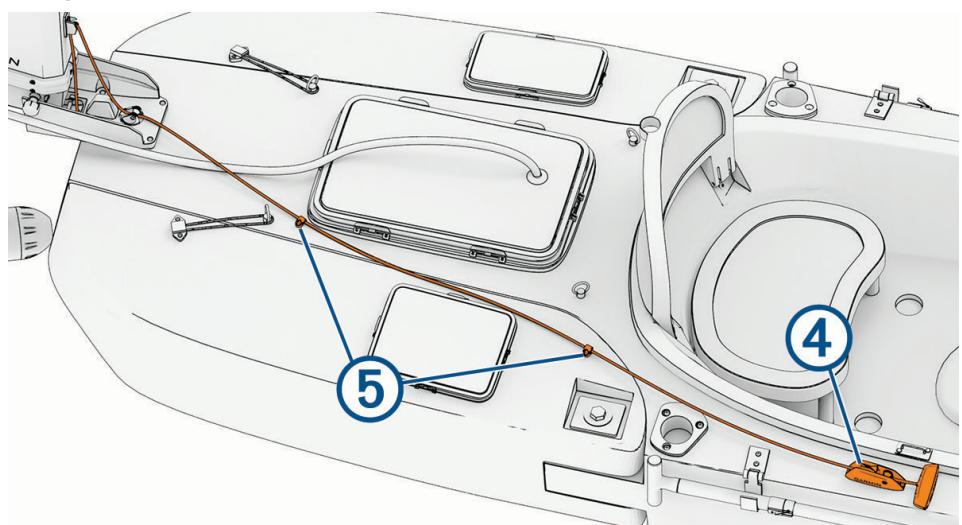
2 ロープがリリースラッチから抜けないように、マウントの下でロープの端を止め結びで結びます。



3 ロープを上にもっていき、モーター前面のアイレット②に通します。

4 ロープを下にもっていき、マウント③のスイベル付き滑車に通します。

5 ロープクリート④の取り付け位置には、シートより前の脇の位置を選びます。



6 マウントからクリートまでロープを通すパッドアイ⑤の取り付けポイントを選びます。

7 パッドアイとクリートを取り付けます (パッドアイとクリートの取り付け, 8 ページ)。

- 8 ロープをパッドアイとクリートに通します。
- 9 ロープハンドルを取り付けます (ロープハンドルの取り付け, 10 ページ)。

パッドアイとクリートの取り付け

カヤックにトラックシステムまたはねじ山付きインサートが装備されている場合は、パッドアイとロープクリートの取り付けにそれらを使用することをお勧めします (可能な場合)。パッドアイとクリートには、標準の T ト ラックに取り付けるための T ナットのセットが付属しています。T トラックまたはねじ山付きインサートがない場合は、以下の手順に従って、付属のジャックナットとねじを使用してパッドアイまたはクリートを取り付けます。

- 1 11 mm ($7/16$ in.) ドリルビットを使用して、取り付け穴を開けます。
- 2 ジャックナットをそれぞれの取り付け穴に取り付けます (ジャックナットの取り付け, 9 ページ)。
- 3 付属の取り付けねじを使用して、クリートまたはパッドアイをカヤックに固定します。

注意: クリートは 2 本のねじを使用してカヤックに固定する必要があります。クリートは正しい向きで取り付けてください。滑車がカヤックの船首方向を向くように取り付けることで、ロープを船尾方向に引いてモーターを収納することができます。

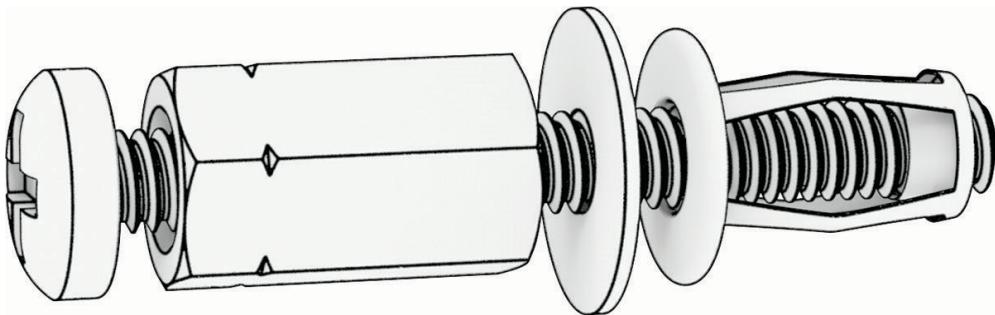
ジャックナットの取り付け

Force Current トローリングモーターには、付属の 20 個の $\frac{1}{4}$ in. ジャックナットを一般的な工具を使用して取り付けられるようにするための金具が付属しています。必要に応じて、専用のジャックナット取り付け工具を購入できます。専用工具を使用する場合は、工具メーカーの指示に従ってジャックナットを取り付ける必要があります。

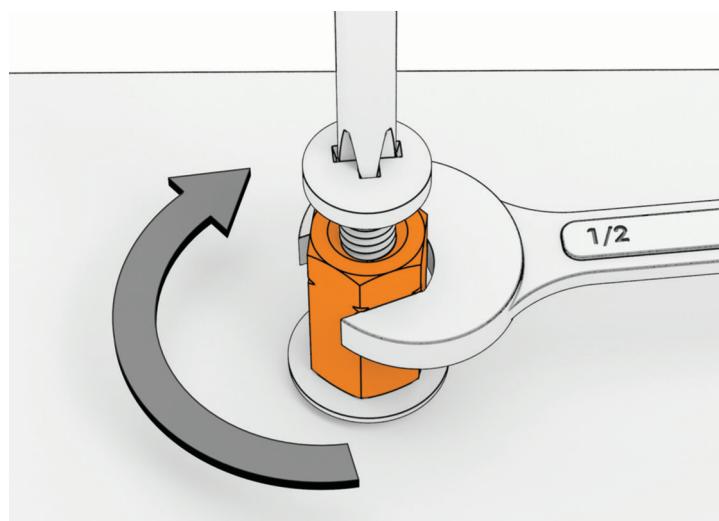
注意

付属のジャックナットは、厚さが 0.020~0.190 in. の取り付け面に使用できます。取り付け面の厚さがその範囲外の場合は、確実に取り付けを行い、カヤックの損傷を防ぐために、適切なジャックナットを購入する必要があります。

- 1 バッグ ⑥ からカップリングナット、ねじ、ワッシャーを取り出します。
- 2 カップリングナット、ワッシャー、およびジャックナットにねじを通して。



- 3 ジャックナットを挿入し、ジャックナットのフランジが面に対して平らになるまで、取り付け面の穴にねじ込みます。
- 4 カップリングナットに $\frac{1}{2}$ in. レンチをはめます。
- 5 ねじが回転しないようにねじの頭を下方向に押さえながら、レンチを使用してカップリングナットを時計回りに回します。

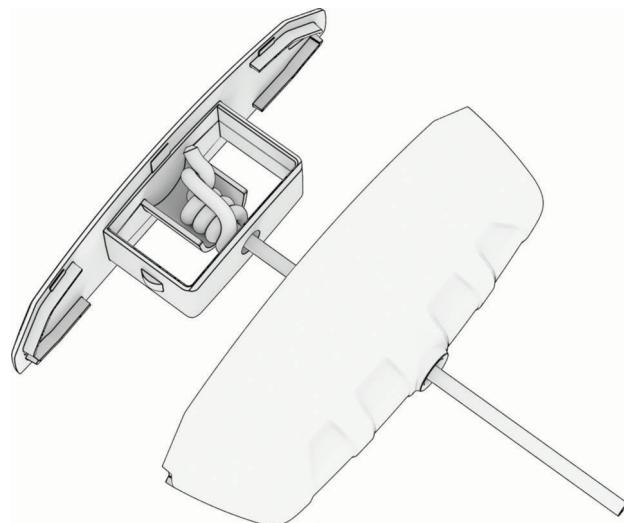


カップリングナットを締めて下げるによってねじが引き上げられ、ジャックナットが取り付け面の下で折れ曲がります。

- 6 カップリングナットが止まるまで回し続けます。
ジャックナットが完全に折れ曲がり、取り付け面に固定されます。
- 7 #2 プラスドライバーを使用してねじを所定の位置に保持しながら、カップリングナットを反時計回りに回して緩めます。
- 8 #2 プラスドライバーを使用して、ジャックナットからねじとカップリングナットを取り外します。

ロープハンドルの取り付け

- 1 プルハンドルの2つのピースにロープの端を通します。
- 2 カヤックに乗った位置から楽にロープに手が届くように、十分なたるみができるように、ロープをトリミングします。
ヒント：モーターが展開位置にあるときは、プルハンドルがクリートの近くにとどまるように、ロープをクリートから約20 cm (8 in.) にトリミングすることをお勧めします。
- 3 止め結びで、プルハンドルの内側にロープを縛ります。
- 4 必要に応じて、ほつれを防ぐためにロープの端を整えて溶融します。
- 5 プルハンドルの2つのピースを合わせてはめ込みます。

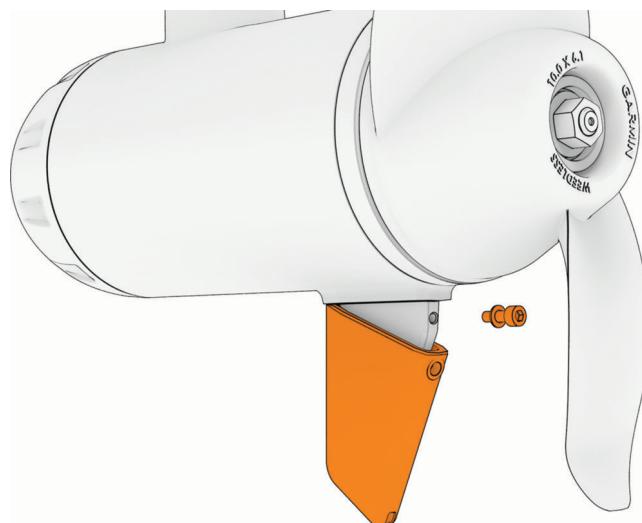


スケグの取り付け

注意

プロペラドライブモーターが水中の障害物に接触した場合にプロペラが損傷するのを防ぐために、スケグを取り付ける必要があります。

- 1 プロペラドライブモーターの下部にあるフィンの上に、前方からスケグを配置します。



- 2 3 mm の六角レンチ（付属）を使用して、ねじとワッシャーを取り付けてスケグを固定します。

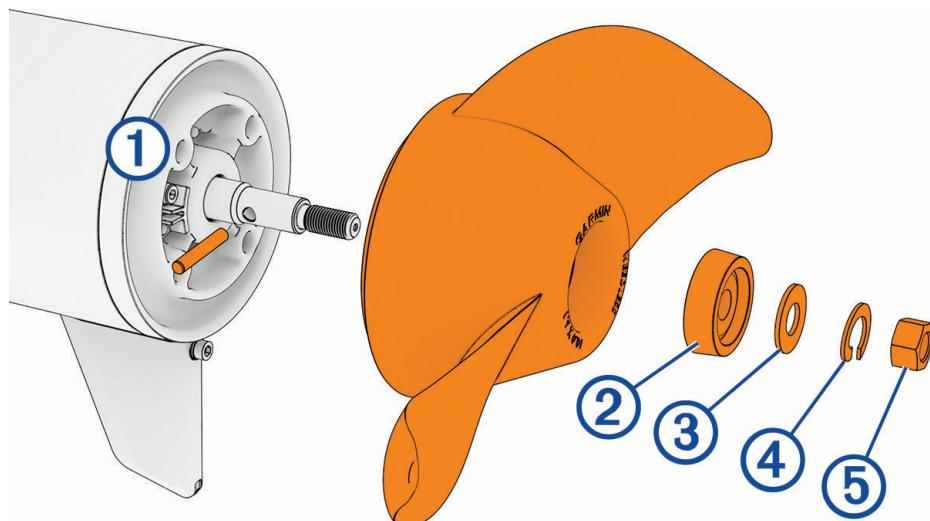
プロペラの取り付け

Force Current トローリングモーターには、ウィードレスプロペラと高効率プロペラが付属します。ウィードレスプロペラは、水草などがプロペラとシャフトに巻きつくのを防ぐように設計されています。

注意

高効率プロペラを搭載した Force Current トローリングモーターは、障害物のない水面でのみ使用してください。水深の浅い場所で高効率プロペラを使用すると、モーターが水中の障害物と衝突してプロペラが損傷するリスクが増加します。

- 1 ピン①をプロペラモーターシャフトに通します。



- 2 必要に応じて、モーターシャフトを回転させてピンを水平にし、取り付け時に落ちにくくなるようにします。
- 3 プロペラの内側のチャンネルをピンに合わせ、プロペラをモーターシャフト上でスライドさせます。
- 4 陽極②、ワッシャー③、ロックワッシャー④、ナット⑤をモーターシャフトの端に置きます。
- 5 14 mm ($\frac{9}{16}$ in.) ソケットで、ロックナットを 16.27 N·m (12 lbf·ft) で締め付け、プロペラを固定します。

リモートコントロールクレードルの取り付け

- 1 クレードルをテンプレートとして使用して、2つのパイロット穴の印を付けます。
- 2 クレードルを取り付け面から外し、パイロット穴をドリルで開けます。

注意

パイロット穴を開ける際にクレードルにドリルを通して穴を開けないでください。クレードルが損傷する可能性があります。

- 3 付属のねじを使用して、クレードルを取り付け面に固定します。

電源を接続する

⚠ 警告

重傷を負ったり、物的損害を避けるため、トローリングモーターの電源ケーブルを接続する前に、サーキットブレーカーをオフの位置に入れておく必要があります。

電源ケーブルのプラス (+) ケーブルは、サーキットブレーカーまたは定格 40 A (連続) のヒューズを介して接続する必要があります。サーキットブレーカーやヒューズを使用せずにこのケーブルを電源に接続すると、ケーブルが短絡し、過熱や火災の原因となることがあります。

注意

Force Current トローリングモーターは、DC 12 または 24 V バッテリーに接続する必要があります。モーターを他の電圧に接続すると、性能が低下したり製品が損傷したりする可能性があります。

- 1 赤い (+) ケーブルを定格 40 A (連続) のサーキットブレーカーに接続して、トーリングモーターの電源ケーブルをバッテリーに接続します。
- 2 トローリングモーターの電源コネクタの防水カバーを反時計回りに 1/4 回転させて、電源コネクタを露出させます。
- 3 ケーブルがカヤックとほぼ平行になるようにして電源ケーブルコネクタを差し込み、完全にはまるまで押し込みます。

注意：モーターに接続する前に、電源ケーブルコネクタのロックカラーがロック解除位置にあることを確認してください。



電源ケーブルストレインリリーフは、モーターハウジングのクレードルに接触して取り付けられています。

- 4 電源ケーブルコネクタのロックリングを時計回りに 1/4 回転させて所定の位置にロックします。

Power Steer フットペダル

Power Steer フットペダルは、一部のモデルに付属するオプションのアクセサリです。

インストールオプション

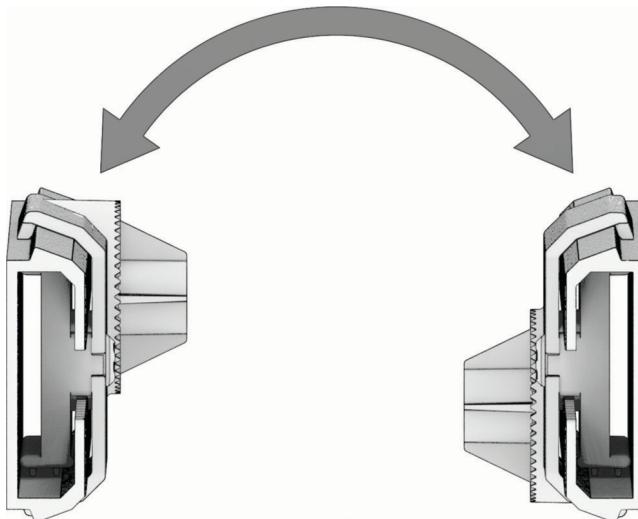
注意

このマニュアルで説明されている取り付け方法はさまざまなカヤックモデルをカバーしていますが、カヤックによってはここで説明されていない取り付け方法が必要な場合があります。お使いのカヤックにこれらの手順がどのように適用されるかについて不明な点がある場合は、お使いのモデルに Power Steer フットペダルレールを取り付けるための最適な方法をカヤックのメーカーにお問い合わせください。

- カヤックの船べりに互換性のある T トラックが装備されている場合は、ねじと T ナットを使用してレールを取り付けることができます ([T トラックへのレールの取り付け, 16 ページ](#))。
- カヤックにペダルレールのセットまたはデッキ側面に適切なねじ山付きインサートが装備されている場合は、既存の取り付け穴を使用してレールを取り付けることができます ([既存の取り付け穴を使用したレールの取り付け, 17 ページ](#))。
- カヤックに T トラックまたは他のアンカーポイントが装備されていない場合は、ジャックナットを使用してレールを取り付けることができます ([ジャックナットを使用したレールの取り付け, 17 ページ](#))。

ペダルの高さの設定

ペダルキャリッジ上の取り付けポイントが中心から外れているため、ペダルレールは初期状態でペダルを高位置に保持するように配置されています。ペダルレールを逆向きにすると、ペダル位置を下げることができます。



注意

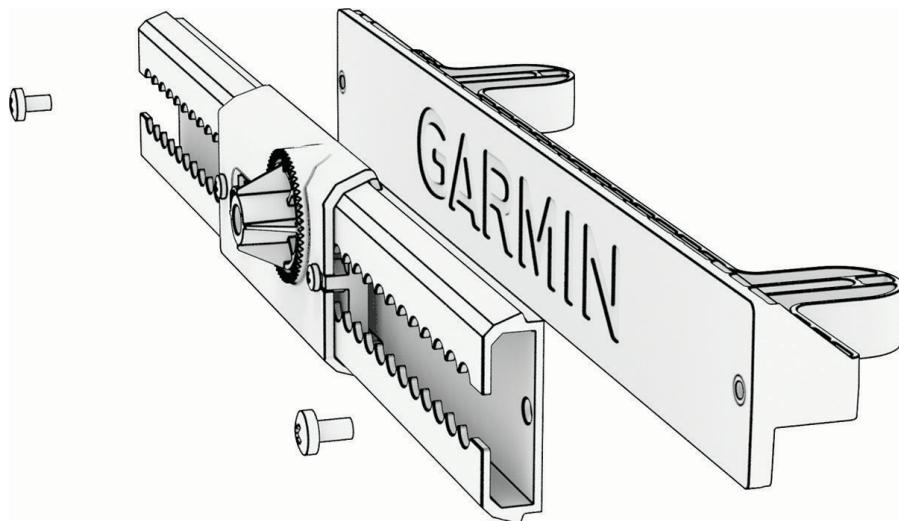
必ずペダルキャリッジボタンをカヤックの船尾方向に向けてレールを取り付ける必要があります。これにより、シートに座ったままペダルの距離を簡単に調整することができます。

注意：船べりへの取り付けのためにペダルレールを逆にする場合は、あらかじめ取り付けられている直角アダプタをレールから取り外し、逆向きに合わせて取り付け直す必要があります ([直角アダプタの取り外し, 14 ページ](#))。

直角アダプタの取り外し

あらかじめ取り付けられている直角アダプタを使用すると、カヤックの船べりにレールを取り付けることができます。レールをデッキの側面に取り付けるには、レールから直角アダプタを取り外す必要があります。

直角アダプタをレールに固定している2本のねじを外します。

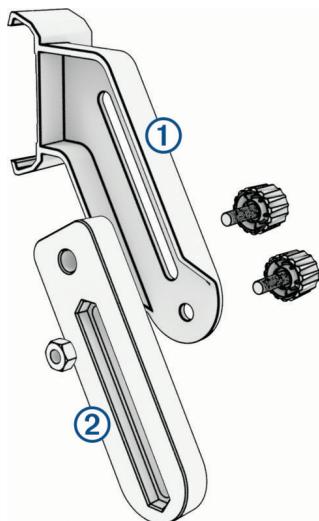


スタビライザの取り付け

オプションのスタビライザは、デッキに対してペダルレールを支持するように設計されており、ペダルレールの取り付け面にかかる負担を軽減します。

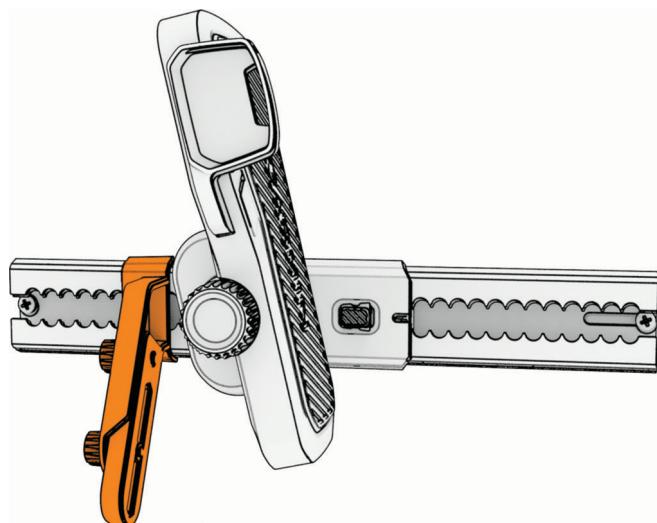
スタビライザを使用する場合は、カヤックにレールを取り付ける前に、スタビライザをレールに取り付ける必要があります。

- 1 **F** のラベルが付いたバッグに入っている 2 個のノブとナットを使用して、スタビライザ①の固定部を金具バッグに入っている調節可能な脚②の 1 つに接続します。



スタビライザには、調整可能な長い脚と短い脚が付属しています。組み立てたスタビライザが確実にデッキに届いてレールを支持できるようにするオプションを選ぶ必要があります。

- 2 組み立てたスタビライザを、ペダルキャリッジのボタンの反対側のレールの端にスライドさせます。



注意：スタビライザを取り付けるには、直角アダプタを一時的に取り外す必要がある場合があります（直角アダプタの取り外し、14 ページ）。

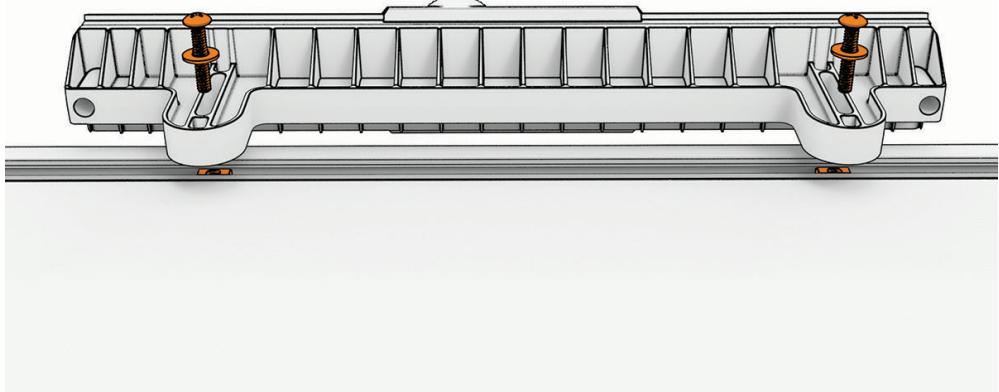
- 3 スタビライザのボタンを押しながら、目的の位置にスライドさせます。
- 4 スタビライザのノブを緩めます。
- 5 調整可能な脚をデッキに届くまで伸ばし、ノブを再度締めます。
- 6 手順 1～5 を繰り返して、スタビライザを他のレールのセットに取り付けます。

T トラックへのレールの取り付け

注意

付属のねじと T ナットは、すべてのカヤックトラックシステムに適しているわけではありません。お使いのカヤックのトラックシステムに適した金具を使用する必要があります。トラックシステムに適していない金具を使用してレールを取り付けると、カヤックやペダルレールが損傷する可能性があります。

- 1 必要に応じて、カヤックの片側のレールにスタビライザを取り付けます (スタビライザの取り付け, 15 ページ)。
- 2 バッグ⑤からねじを取り出し、バッグ⑥から T ナットとワッシャーを取り出します。
- 3 2 個の T ナットをレールの端からスライドさせ、レール上の直角アダプタの取り付け穴に合わせます。
- 4 ねじとワッシャーを使用して、レールをトラックに取り付けます。



- 5 レールとデッキの側面の間に隙間がないことを確認し、ねじを締めます。

注意

カヤックと直角アダプタの間の接触面が最大になるようにする必要があります。レールとデッキの側面との間に隙間があると、取り付けが不安定になり、カヤックが損傷する可能性があります。

- 6 必要に応じて、カヤックのもう一方の側でこの手順を繰り返します。

既存の取り付け穴を使用したレールの取り付け

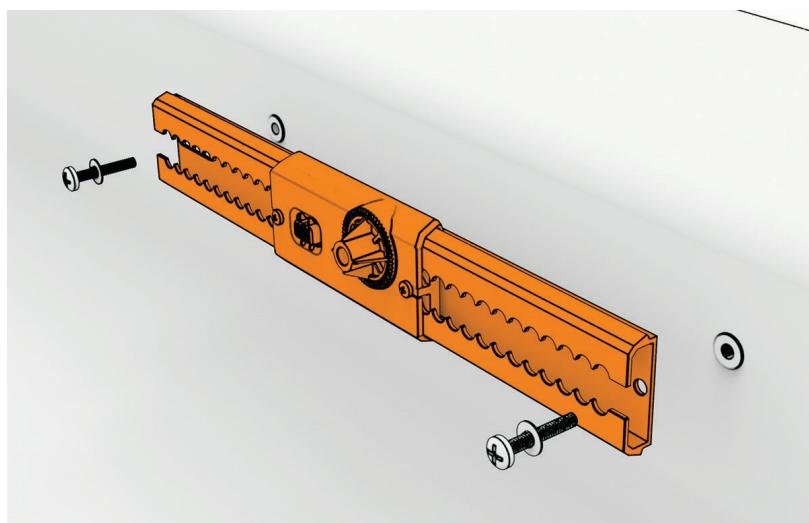
レールをデッキの側面に取り付ける前に、レールから直角アダプタを取り外す必要があります (直角アダプタの取り外し, 14 ページ)。

Power Steer フットペダルには、レールをデッキの側面に取り付けるための、バッグ⑤に入っている 20 本の $\frac{1}{4}$ in.ねじと、バッグ⑥に入っているワッシャーが付属します。付属の金具は、カヤックの既存の取り付け穴と互換性がない場合があります。既存のレールのセットを交換する場合は、元の取り付け金具を再利用して新しいレールを取り付けることを検討する必要があります。

注意

ペダルレールとカヤックの取り付け穴に適したねじとワッシャーを使用する必要があります。適切な金具を使用せずにレールを取り付けると、レールとカヤックが損傷する可能性があります。

- 1 必要に応じて、カヤックから既存のレールのセットを取り外し、取り付け金具を脇に置きます。
- 2 ねじとワッシャーを使用して、レールをデッキの側面に取り付けます。



注意

レールを取り付けるには、ワッシャーを使用する必要があります。ワッシャーなしでレールを取り付けると、レールまたはカヤックが損傷する可能性があります。

ジャックナットを使用したレールの取り付け

レールをデッキの側面に取り付ける前に、レールから直角アダプタを取り外す必要があります (直角アダプタの取り外し, 14 ページ)。

カヤックにトラックシステムやペダルレールに適した取り付けポイントがない場合は、付属のジャックナットを使用して必要な取り付けポイントを設置することができます。

- 1 ペダルレールをテンプレートとして使用して、カヤックの片側にパイロット穴の印を付けます。
- 2 11 mm ($\frac{7}{16}$ in.) ドリルビットを使用して、取り付け穴を開けます。

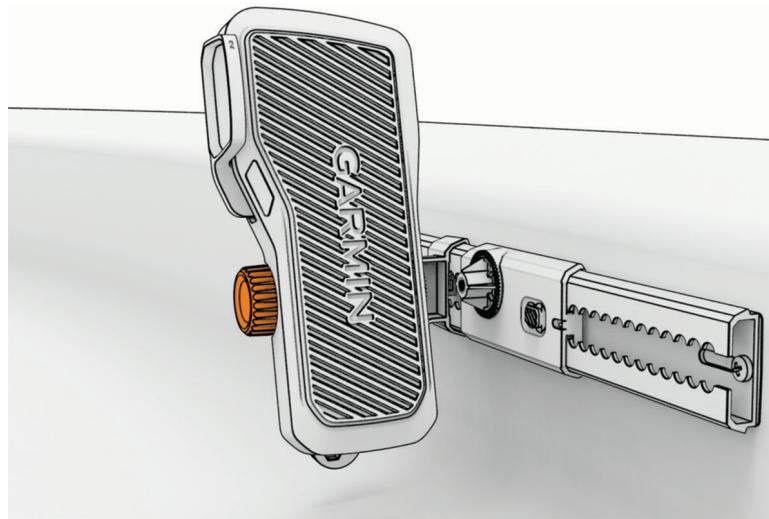
注意

レールを通して取り付け穴を開けないでください。レールを通して取り付け穴を開けると、レールが損傷する可能性があります。

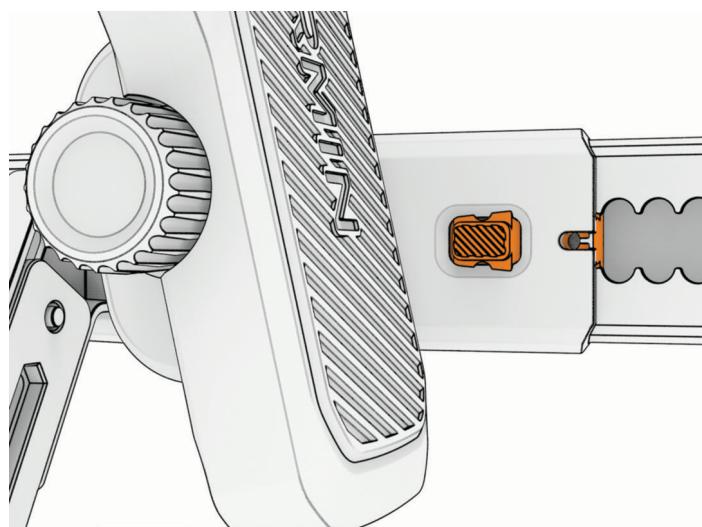
- 3 バッグ⑤に入っているジャックナットをそれぞれの取り付け穴に取り付けます (ジャックナットの取り付け, 9 ページ)。
- 4 バッグ⑤に入っているねじとバッグ⑥に入っているワッシャーを使用して、レールをカヤックに固定します。
- 5 必要に応じて、カヤックのもう一方の側でこの手順を繰り返します。

レールへのペダルの取り付け

- 1 ペダルの外側のねじをレール上のペダルキャリッジのねじ山付きソケットに合わせ、ペダルの反対側のノブを時計回りに回してペダルをペダルキャリッジに取り付けます。



- 2 ペダルを前後に傾けて可動範囲を確認し、必要に応じてペダルの角度を調整します。
- 3 必要に応じて、ペダルキャリッジのボタンを押し、レールに沿ってスライドさせて、ペダルを快適な距離に配置します。



注意

ペダルキャリッジをペダルレールの端まで動かさないでください。ペダルキャリッジがいずれかのペダルレール取り付けねじと重なると、動かすのが困難になることがあります。

- 4 もう一方のペダルについても同じ手順を繰り返します。

ヒント：ペダルがペダルキャリッジに接続されている位置のマークをチェックすると、両方のペダルが同じ角度で取り付けられていることを確認できます。

注意

カヤックを搬送する場合は、事前にペダルをペダルキャリッジから取り外しておく必要があります。搬送中にペダルが緩んで、物的損傷を引き起こす可能性があります。

仕様

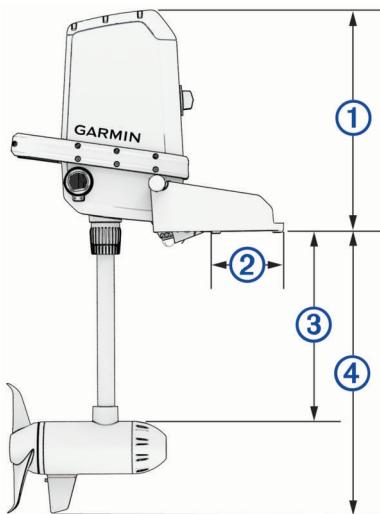
トローリングモーター

重量	モーターのみ：10.1 kg (22.2 lbs) マウントおよびケーブルを含む：12.6 kg (27.8 lbs)
動作温度	-5°～40°C (23°～104°F)
保管温度	-40°～85°C (-40°～185°F)
防水等級	ステアリングシステムハウジング：IEC 60529 IPX7 ² プロペラドライブモーターハウジング：IEC 60529 IPX8 ³
電源ケーブル長	165 cm (5 ft. 5 in.)
入力電圧	DC10～32 V
入力電流	連続 40 A
ブレーカー（別売）	DC 32 V 以上、連続 40 A に適しています。 注意： 高温下で動作する場合、または他のデバイスと回路を共有している場合は、60 A を超えない大型サーキットブレーカーを使用してシステムを保護できます。船舶の配線が、大型のブレーカーを使用する際の配線基準を満たしていることを確認してから交換する必要があります。
最大消費電力	512 W (DC12.8 V 時) 1024 W (DC25.6 V 時)
無線周波数と送信出力	2.4 GHz @ 19.0 dBm 最大

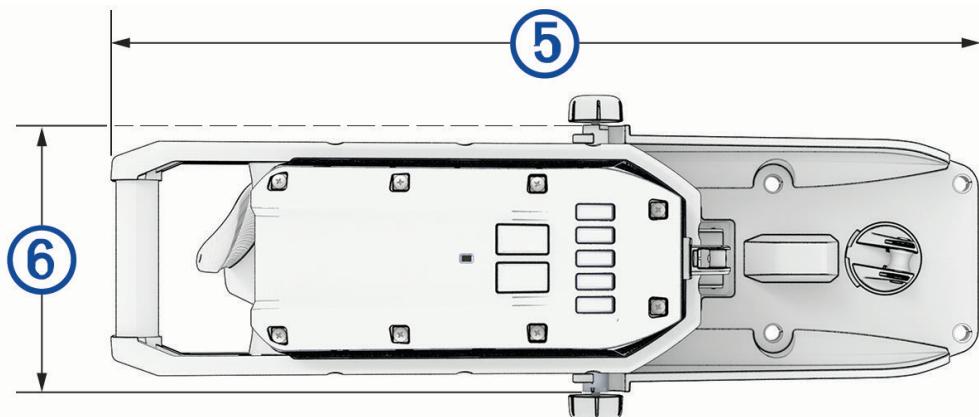
²水深 1 メートル、30 分までの偶発的な浸水に耐えます。

³水深 3 メートルまでの継続的な浸水に耐えます。

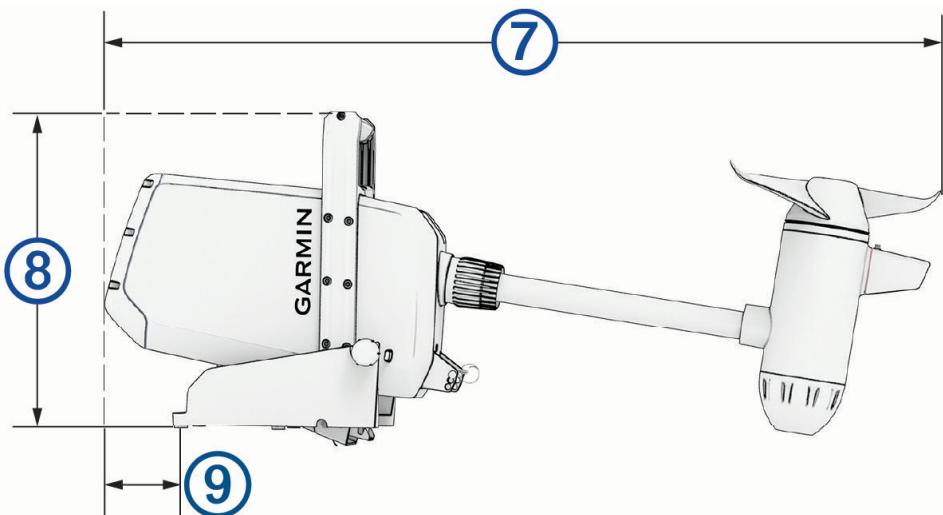
サイズ



①	431 mm (17 in.)
②	29 mm (11 1/8 in.)
③	290 mm (11 3/8 in.) 最小 422 mm (16 5/8 in.) 最大
④	483 mm (19 in.) 最小 616 mm (24 1/4 in.) 最大



⑤	527 mm (20 3/4 in.)
⑥	185 mm (7 5/16 in.)



⑦	1005 mm (39 5/8 in.)
⑧	385 mm (15 3/16 in.)
⑨	112 mm (4 3/8 in.)

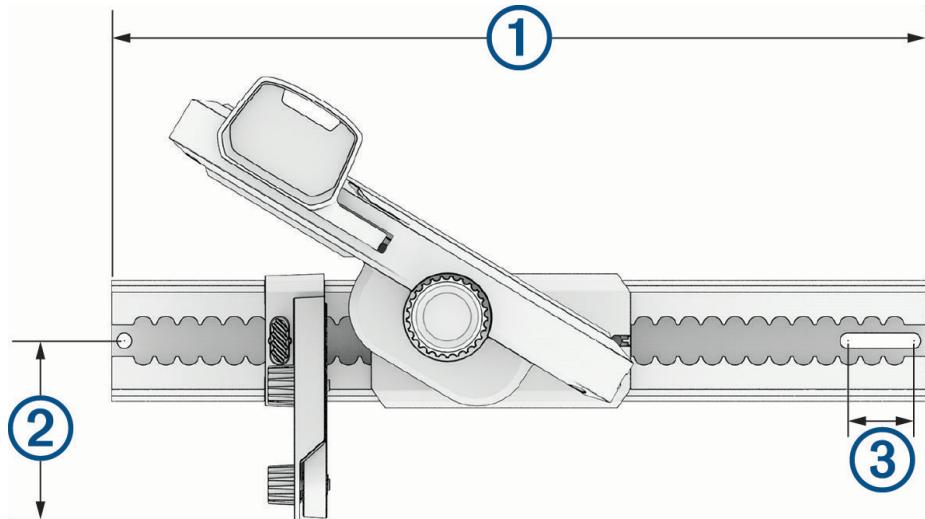
Power Steer フットペダル

Power Steer フットペダルは一部のモデルにのみ含まれています。

重量（レールを含む完全なシステム）	3.08 kg (6.8 lb.)
動作温度	-5°~40°C (23°~104°F)
保管温度	-40°~85°C (-40°~185°F)
防水等級	IEC 60529 IPX7 ⁴
電源	ペダル 1 個につき単三電池 2 個
無線周波数と送信出力	2.4 GHz @ 9.1 dBm 最大

⁴水深 1 メートル、30 分までの偶発的な浸水に耐えます。

サイズ



①	394 mm (15 1/2 in.)
②	87 mm (3 7/16 in.) 最小 (短いスタビライザーム) 196 mm (7 11/16 in.) 最大 (長いスタビライザーム)
③	32 mm (1 1/4 in.)



④	14 mm (5 9/16 in.)
⑤	21 mm (13/16 in.)

リモートコントロール

寸法 (幅×高さ×奥行き)	152 x 52 x 32 mm (6 x 2 x 1 1/4 in.)
重量	109 g (3.8 oz.) (電池を含まない)
材質	ガラス充填ナイロン
ディスプレイタイプ	日光読み取り可能な半透過型メモリーインピクセル (MIP)
ディスプレイ解像度	R240 x 240 ピクセル
表示サイズ (直径)	30.2 mm (1 3/16 in.)
動作温度	-15°~55°C (5°~131°F)
保管温度	-40°~85°C (-40°~185°F)
バッテリータイプ	単三電池 x 2 (別売)
電池寿命	240 時間、一般的な用途
無線周波数	2.4 GHz @ 10.0 dBm 定格
防水等級	IEC 60529 IPX7 ⁵
コンパス安全距離	15 cm (6 in.)

© 2025 Garmin Ltd. or its subsidiaries

Garmin®、Garmin ロゴ、ActiveCaptain®、および Force®は、Garmin Ltd.とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

拖釣推進器 M/N: A04625

遙控器 M/N: AA03474

脚踏板控制器 M/N: A04627

⁵水深 1 m、30 分までの偶発的な浸水に耐えます。

